

第11回EPA受入施設及び看護師・介護福祉士候補者調査

実施:

一般社団法人
外国人看護師・介護福祉士支援協議会

1. 調査の目的

今年度はEPAに基づく、インドネシア人第9陣～第11陣／フィリピン人第8陣～第10陣／ベトナム人第3陣～第5陣の看護師候補者と、EPAに基づく、インドネシア人第9陣～第11陣／フィリピン人第8陣～第10陣／ベトナム人第3陣～第5陣の介護福祉士候補者。そして、その候補者の受入施設を対象とした。

この調査は、受入施設間の情報共有を図って、今後の取り組みに資することを目的に、受入施設のEPA担当者及び候補者に対して調査を行ったものである。

2. 調査対象と方法

調査対象:	受入施設数	候補者数
第9陣(2016年度) インドネシア人看護師候補者	21	46
第10陣(2017年度) インドネシア人看護師候補者	14	29
第11陣(2018年度) インドネシア人看護師候補者	12	31
第8陣(2016年度) フィリピン人看護師候補者	28	60
第9陣(2017年度) フィリピン人看護師候補者	17	34
第10陣(2018年度) フィリピン人看護師候補者	18	40
第3陣(2016年度) ベトナム人看護師候補者	10	18
第4陣(2017年度) ベトナム人看護師候補者	12	22
第5陣(2018年度) ベトナム人看護師候補者	13	26
合計	145	306
第9陣(2016年度) インドネシア人介護福祉士候補者	99	233
第10陣(2017年度) インドネシア人介護福祉士候補者	123	295
第11陣(2018年度) インドネシア人介護福祉士候補者	127	298
第8陣(2016年度) フィリピン人介護福祉士候補者	116	276
第9陣(2017年度) フィリピン人介護福祉士候補者	141	276
第10陣(2018年度) フィリピン人介護福祉士候補者	149	282
第3陣(2016年度) ベトナム人介護福祉士候補者	79	162
第4陣(2017年度) ベトナム人介護福祉士候補者	78	181
第5陣(2018年度) ベトナム人介護福祉士候補者	87	193
合計	999	2196

配布方法: 郵送配布、郵送回収

調査時期: 2019年9月27日～10月28日

調査方法: 施設票1部と候補者票(配属人数分)を各受入施設に郵送した。
候補者票については、施設側に各候補者へのアンケート配布・回収をお願いした。
施設票、候補者票ともに返信用封筒にて回収を行った。

3. 調査内容

- ・調査票は、「受入施設票」と「看護師・介護福祉士候補者票」で構成。
- ・「受入施設票」は、EPAへの受入理由、満足度、帰国者の有無、候補者の日本語能力レベル、候補者を選ぶ基準、外国人看護師、介護福祉士が日本国内にて活躍していくことをどう思われるか等を調査内容とした。
- ・「候補者票」は、基本属性、来日後の問題点、日本語学習・国家試験学習に対する内容や進捗具合、今後どのような仕事をしたいか、日本以外で看護または介護の仕事をした国はあるか等を調査内容とした。
- ・「施設票」は、各受入施設の施設責任者、事務長、EPA担当者に回答を依頼した。
- ・「候補者票」は、各受入施設に候補者の配属人数分(帰国者含む)を送付し、全候補者に回答を依頼した。

4. 回収状況

受入施設票

	対象数	回収数	回収率
病院・施設	実数(重複除く) 601	165	27.5%

候補者票

	対象数	回収数	回収率
候補者	2502	671	26.8%

5. 本調査の問い合わせ先

一般社団法人 外国人看護師・介護福祉士支援協議会(略称:BimaCONC[ビマコンク])

TEL: 03-6666-8163 FAX: 03-3221-4717 E-mail: zen-kangokaigo@jjaec.jp

Copyright © 2014 BIMACONC All Rights Reserved.(無断使用・複製・転載・配布禁止)

目次

1	調査総評	P3
2	【看護師候補者 受入施設】	
	「EPAに基づく看護師・介護福祉士候補者調査」・・・集計表、自由記述	P4～P8
3	【介護福祉士候補者 受入施設】	
	「EPAに基づく看護師・介護福祉士候補者調査」・・・集計表、自由記述	P9～P20
4	【看護師・介護福祉士候補者】	
	「EPAに基づく看護師・介護福祉士候補者調査」・・・集計表、自由記述	P21～P28

調 査 総 評

一般社団法人

外国人看護師・介護福祉士支援協議会

EPA協定に基づく外国人看護師、介護福祉士候補者の受け入れは、2008年のインドネシア人候補者第一陣の来日から10年が経過して受け入れ機関の体制も整い、さらに、各種サポートや補助金制度が生まれてきたことにより、日本国内にEPAプログラムへの理解が浸透したと言えそうだ。EPAの候補者が現地看護大卒などの一定の応募資格が厳守され、日本の受け入れ機関での真面目な働き方が評価され信頼感が醸成された結果であろうか、知識とケアマインドを備えたEPA候補者たちへの評価が高まっている。

看護師候補者の受け入れ機関から、EPAでの受け入れは、支援体制が整っており、歴史もあるので安心して受け入れができる。今まで受け入れた職員は、すべてが真面目だったという意見がある一方、EPA候補者が国家試験合格後にすぐ帰国してしまうと、指導者側のモチベーションの維持が難しいという意見や、母国に帰ることが多いと思うが、これでいいのかと疑問に思う、という意見があった。

これを踏まえて、本年度の調査でも、EPA、技能実習、介護ビザ、特定技能の4通りの選択がある中でEPA候補者受け入れの継続意思や、候補者側のEPA機関終了後の進路計画などについて設問している。受入施設の回答は昨年同様、看護師候補者受入施設と介護福祉士候補者受入施設数のそれぞれの集計を出している。その概要は以下の通りである。

【Ⅰ】EPA候補者の受け入れに対し、全体的には満足していると思われる。マッチング成立の困難さや近年におけるEPA候補者の賃金の上昇も課題として残るが、候補者の素直さや仕事に対する姿勢などを評価する施設も多かった。受け入れ側としては、入職時の日本語レベルは「日常会話・読み書き、記録作成など」高いレベルを期待する一方、本音としては、EPA候補者の受け入れは施設の活性化もあるが、現在及び将来的な人材不足の懸念による人材確保があると感じる。

【Ⅱ】国家試験を受験し合格しても、合格後の滞在期間は3年未満が50%以上。当初EPAに応募した段階では日本への興味、外国で就労することへの意欲、介護への関心などがあるが、（介護の場合）要件として看護学校を卒業しているため、看護師としての業務を捨てきれないで見える。受け入れ先での就労については、大半が満足しているが、期待する点として、日本語、給与面を希望する声が多く見受けられ、また、将来的な母国からの家族呼び寄せ支援などが挙げられた。候補者の大多数において、EPAは快適な制度と思われる。日本語の壁や国家試験の合格は大変だと感じるが、3年の期間を日本で就労することには満足しているようだ。

【Ⅲ】国家試験合格後の定着の問題であるが、受け入れ機関は看護師・介護福祉士ともに、給与体系の見直しや日本語教育のさらなるサポートに取り組む姿勢を見せており、候補者たちも合格後は、引き続き日本で仕事をしたいとするものが多かった。看護師候補の場合は10年以上は日本で働きたいが244人で44.8%、1から3年以上が241人で44.2%、介護福祉士の場合、国家試験の合否にかかわらず、介護施設で働きたいが254人で、47.8%を占めていた。

地方自治体による支援事業に関し、看護師候補者の受け入れ施設からの回答を見ると地方自治体から補助金等の支援を受けている病院は12機関で48%を占めているが、支援を受けていない、または自治体が行っていない、と回答したものが9機関で、36%を占めている。また、介護福祉士受け入れ施設からの回答を見ると、支援を受けていると答えたものが26施設で56.5%、を受けていない、または自治体が行っていない、と答えたものが16施設で34.8%を占めている。

このことを見ると、地方自治体の支援事業が全国一律にあるわけではなく、また支援の中身も教育費であったり、アパート代など住宅費であったりと、まちまちである。BIMA CONCとしては、EPAプログラムは、同候補者の立場を考慮すれば、受入機関の受け入れ体制の平等性、公平性が図られる必要があると考えており、各自治体からの支援も、公平化を図るべきと考えている。受け入れ実績に応じた助成制度を作って欲しい、という要望も寄せられたので、これは今後の検討課題となろう。

以上

「EPAに基づく看護師・介護福祉士候補者」集計表
～【看護師候補者 受入施設 回答】～

問1 貴施設は以下のどれに該当しますか。

	回答数	構成比
(1) 病院	26	100.0%
(2) 特別養護老人ホーム	0	0.0%
(3) 老人保健施設	0	0.0%
(4) 障害者施設	0	0.0%
(5) 介護療養型医療施設	0	0.0%
(6) その他	0	0.0%
計	26	100.0%

問2 受け入れていらっしゃる候補者は、以下のどれにあたりますか。

	回答数	構成比
(1) インドネシア人第9陣（2016年度来日）看護師候補者	11	14.7%
(2) インドネシア人第10陣（2017年度来日）看護師候補者	10	13.3%
(3) インドネシア人第11陣（2018年度来日）看護師候補者	6	8.0%
(4) フィリピン人第8陣（2016年度来日）看護師候補者	24	32.0%
(5) フィリピン人第9陣（2017年度来日）看護師候補者	7	9.3%
(6) フィリピン人第10陣（2018年度来日）看護師候補者	4	5.3%
(7) ベトナム人第3陣（2016年度来日）看護師候補者	5	6.7%
(8) ベトナム人第4陣（2017年度来日）看護師候補者	2	2.7%
(9) ベトナム人第5陣（2018年度来日）看護師候補者	6	8.0%
計	75	100.0%

問3 既に帰国した候補者がいる場合はご記入ください。

	回答数	構成比
(1) 既に帰国した候補者がいる→ 問4へ	11	42.3%
(2) 帰国した候補者はいない→ 問6へ	15	57.7%
計	26	100.0%

問4 帰国についての申し出はどちらからありましたか。

	回答数	構成比
(1) 候補者	11	100.0%
(2) 受入れ病院・施設	0	0.0%
(3) 双方	0	0.0%
計	11	100.0%

問5 帰国した候補者の帰国理由で次の内あてはまるものをお選びください。

	回答数	構成比
(1) 本人の健康上の理由	3	13.6%
(2) 家族に関する理由	7	31.8%
(3) 日本の生活になじめなかったため	2	9.1%
(4) 職場環境になじめなかったため	1	4.5%
(5) 収入や待遇が期待と違っていたため	0	0.0%
(6) 仕事の内容が期待と違っていたため	1	4.5%
(7) 国家試験に合格できないと判断したため	2	9.1%
(8) EPA期間満了	1	4.5%
(9) その他	5	22.7%
計	22	100.0%

その他 ・看護師としての業務を甘く考えていたとのことでした。モニターを使っている患者を見るのがこわいとのことでした。

- ・延長基準を満たせなかったため
- ・国家試験に合格後、国内他施設に転職する為
- ・日本語習得に自信がもてず、英語を活かせる国への転職希望
- ・国家試験の点数が低く、1年延長できなかった

問6. EPA候補者の受入れをされる理由は何ですか？

	回答数	構成比
(1) 将来的なマンパワー不足の解消のため	7	17.5%
(2) 現在の人材不足解消のため	7	17.5%
(3) 国際貢献	18	45.0%
(4) 候補者を受入ることによっての他職員の意識改革（資格取得等）	6	15.0%
(5) 人材育成の見直し	0	0.0%
(6) その他	2	5.0%
計	40	100.0%

- ・インドネシア語の対応

問7. 外国人を採用するにあたって、初年度に必要と思われる日本語能力はどれくらいですか？

	回答数	構成比
(1) 日常の会話ができる程度の日本語能力	15	51.7%
(2) 読み書きは難しいが、指示されたことが理解できる日本語能力	7	24.1%
(3) 記録作成ができる日本語能力	6	20.7%
(4) 日本語能力は問わない	0	0.0%
(5) その他	1	3.4%
計	29	100.0%

- ・N3程度

問8. 候補者の国家試験受験学習体制についてお聞かせください。

	回答数	構成比
(1) 病院、施設内にて教育担当がおり、十分な指導ができる体制をとっている。	7	20.6%
(2) 病院、施設内に教育担当はいるが、他業務に追われ満足のない教育が出来ない状況。	12	35.3%
(3) 外部に委託（外部講師、予備校など）している。	6	17.6%
(4) 外部に委託をしたいが、近隣に適切な機関がない。	0	0.0%
(5) 学習時間を設け、自習を行わせている。	6	17.6%
(6) その他	3	8.8%
計	34	100.0%

- ・師長と院内ボランティアが日々交替で半日、つきっきりで勉強をさせた
- ・本部と病院での教育体制及び社内内の急性期及び在宅のローテーション研修の協力
- ・毎週小テストを行い、音読、答え合わせ、解説の時間を設けている

問9. 看護師候補者受入れご担当の方にお聞きします。

候補者が看護師国家試験に合格をした場合（合格している場合も含める）、引き続き看護師として就労をしてもらうことを望まれますか？

	回答数	構成比
(1) 最低でも3年～5年は看護師として務めてほしい。	8	30.8%
(2) 日本に定住をし、看護師としてのキャリアを伸ばしてほしい。	7	26.9%
(3) 本人が望むのであれば、今後も看護師として務めてほしい。	11	42.3%
(4) 看護師として務めてほしいとは思いますが、引き続き就労してもらうのは難しい。	0	0.0%
計	26	100.0%

問10. 近年、地方自治体がEPA候補者の受入れに対して支援事業を行うようになりましたが、貴施設では自治体または他団体からの支援もしくは補助を受けていますか？

	回答数	構成比
(1) 受けている。	13	50.0%
内容： 補助金・研修・学習資料の提供		0.0%

- ・看護師による個別指導および看護師国家試験対策用レビューブック、クエスチョンバンク等説明書購入、当院専用の学研eラーニング受講等。
- ・外国人看護師候補者支援事業
- ・補助金を一部負担しているとのこと
- ・日本語教育・就労支援
- ・外国人看護師候補者就労支援費（県より）
- ・学習に対する補助金
- ・研修費用に係る補助金
- ・日本語ボランティアの方に週に1回来て頂いています。

(2)	受けていない、または自治体が行っていない。	9	34.6%
(3)	支援事業があれば申請してみたい。	3	11.5%
(4)	その他	1	3.8%
	計	26	100.0%

・以前は受けていたが、現在は候補者が資格取得したので受けていない。

問11. 候補者が国家試験を取得した場合、帰国をせずに有資格者として定着するために、何か取り組んでいること、または検討していることはありますか？

	回答数	構成比	
(1) 日本語教育の更なるサポート	9	29.0%	
(2) 日本人同様に責任のあるポジションを用意	4	12.9%	
(3) 給与体系の見直し、手当での増額	10	32.3%	
(4) 既婚者に対して、母国からの配偶者・子供の呼び寄せ支援。	5	16.1%	
(5) その他	3	9.7%	
	計	31	100.0%

その他 ・現時点でなし

・運転免許の取得支援

・就労時に、プリセプター支援より、細やかな指導体制(看護学実習スタイルなど)

問12. 総合的にみて、EPA候補者を受け入れたことに満足していますか。

	回答数	構成比	
(1) 満足	6	24.0%	
(2) どちらかといえば満足	12	48.0%	
(3) どちらともいえない	7	28.0%	
(4) どちらかといえば不満	0	0.0%	
(5) 不満	0	0.0%	
	計	25	100.0%

問13. 2017年11月1日より技能実習新制度に介護職種が追加されました。また、介護福祉士養成校を卒業し介護福祉士の資格を取得した外国人に対しては、介護ビザでの在留資格が認められました。外国人介護職の確保としては、EPA、技能実習、介護ビザの3通りの選択がありますが、今後もEPA候補者の受入れを続けていけますか？また、その理由をお聞かせください。(EPA候補者を受入れるメリット、技能実習生についての考え方、介護ビザ利用への不安など)〔自由記述〕

・EPA候補者の受入れに際し、準備・指導・教育等努力しても、合格後、帰国してしまう状況があると、指導者側のモチベーション維持が難しいです。看護はそのままEPAを続ける見込みです。

・EPAの看護師候補者として、はじめて日本に来る為、食事や文化の違いに慣れないまま、国家資格をとるまで勉強を行います。国家資格をとったとしても、日本人と同じような考えをもって働くことが難しく、それでも賃金を同じようにする難しさなどと感じます。
日本の看護学校で学んだ後に受け入れるなど、日本のことを分かった上で働く制度の方が良いのではと感じました。

・EPAは毎年受入れるかどうかは検討しているが、継続して受入れたい。
EPAでの受入れは、支援体制が整っており、歴史もあるので安心して受入れでき、今まで受入れた職員は、全てが真面目に関わりやすいと感じているため。

・介護者の人材不足は深刻な現状がある。そのためEPA候補者の受入れは継続していく方針。また、介護ビザも利用していきたいが、日本語能力が低いことや経済的支援等の問題があり、ハードルが高いと感じる。

・看護師のプロフェッショナリズム、プライド、向上心など日本人より優秀な人材を採用できるチャンスが大きいことは、EPA候補者を受け入れるメリットと考えます。
現地でも”JEPA”の名称(呼称)で一般化されており、今のところ技能実習生の受入れよりも容易に優秀な人材が集まりやすいことも、EPA受入れを続けて行く理由です。

・EPA候補者の受入れは継続する予定。母国や来日後の研修体制や、サポートも充実しており安心できる。

・人材不足の為、外国人に頼らなくてはならない現状は分かるが、看護・介護の仕事は誰でもできるものではないと思う。母国に帰ることが多いと思うが、これでいいのかと疑問に思う。

・技能実習生への日本語教育の在り方に不安があるが、経済発展を担う「人づくり」に協力できると思います。

・受入れる

・EPA候補者の受入れは継続。候補者への信頼度が高く、現在のEPA人材との関係で職務・学習支援ができる・他に介護ビザ2名を採用予定。

・今後もEPAを受入れ予定です。理由としては看護師資格があること、一定の日本語能力があることです。

・外国人労働者の受入れは継続する予定ではあるが、EPAにこだわっている訳ではないので、他の受入れ方法も視野に入れている。

「EPAに基づく看護師・介護福祉士候補者」集計表
 ～【介護福祉士候補者 受入施設 回答】～

問1 貴施設は以下のどれに該当しますか。

	回答数	構成比
(1) 病院	1	0.7%
(2) 特別養護老人ホーム	93	66.9%
(3) 老人保健施設	33	23.7%
(4) 障害者施設	7	5.0%
(5) 介護療養型医療施設	0	0.0%
(6) その他	5	3.6%
計	139	100.0%
その他		
・認知症対応型 共同生活介護		
・有料老人ホーム		
・養護老人ホーム		
・ケアハウス		

問2 受け入れていらっしゃる候補者は、以下のどれにあたりますか。

	回答数	構成比
(1) インドネシア人第9陣（2016年度来日）介護福祉士候補者	59	10.9%
(2) インドネシア人第10陣（2017年度来日）介護福祉士候補者	73	13.5%
(3) インドネシア人第11陣（2018年度来日）介護福祉士候補者	78	14.5%
(4) フィリピン人第8陣（2016年度来日）介護福祉士候補者	53	9.8%
(5) フィリピン人第9陣（2017年度来日）介護福祉士候補者	55	10.2%
(6) フィリピン人第10陣（2018年度来日）介護福祉士候補者	73	13.5%
(7) ベトナム人第3陣（2016年度来日）介護福祉士候補者	34	6.3%
(8) ベトナム人第4陣（2017年度来日）介護福祉士候補者	60	11.1%
(9) ベトナム人第5陣（2018年度来日）介護福祉士候補者	54	10.0%
計	539	100.0%

問3 既に帰国した候補者がいる場合はご記入ください。

	回答数	構成比
(1) 既に帰国した候補者がいる→ 問4へ	29	40.3%
(2) 帰国した候補者はいない→ 問6へ	43	59.7%
計	72	100.0%

問4 帰国についての申し出はどちらからありましたか。

	回答数	構成比
(1) 候補者	29	93.5%
(2) 受入れ病院・施設	1	3.2%
(3) 双方	1	3.2%
計	31	100.0%

問5 帰国した候補者の帰国理由で次の内あてはまるものをお選びください。

	回答数	構成比
(1) 本人の健康上の理由	10	22.7%
(2) 家族に関する理由	11	25.0%
(3) 日本の生活になじめなかったため	3	6.8%
(4) 職場環境になじめなかったため	0	0.0%
(5) 収入や待遇が期待と違っていたため	2	4.5%
(6) 仕事の内容が期待と違っていたため	1	2.3%
(7) 国家試験に合格できないと判断したため	2	4.5%
(8) EPA期間満了	5	11.4%
(9) その他	10	22.7%
計	44	100.0%

- その他
- ・結婚するため
 - ・結婚し、別の外国で居住予定
 - ・子供を身ごもった為
 - ・結婚・妊娠
 - ・ちがう目標ができたため
 - ・友達に誘われてEPA参加。介護の世界で働く志がなかった。
 - ・母国に住む軍人さんとの結婚のため

問6. EPA候補者の受入れをされる理由は何ですか？

	回答数	構成比
(1) 将来的なマンパワー不足の解消のため	86	30.2%
(2) 現在の人材不足解消のため	82	28.8%
(3) 国際貢献	54	18.9%
(4) 候補者を受入ることによっての他職員の意識改革（資格取得等）	53	18.6%
(5) 人材育成の見直し	9	3.2%
(6) その他	1	0.4%
計	285	100.0%

・法人理念の実践

問7. 外国人を採用するにあたって、初年度に必要と思われる日本語能力はどれくらいですか？

	回答数	構成比
(1) 日常の会話ができる程度の日本語能力	73	48.0%
(2) 読み書きは難しいが、指示されたことが理解できる日本語能力	58	38.2%
(3) 記録作成ができる日本語能力	18	11.8%
(4) 日本語能力は問わない		0.0%
(5) その他	3	2.0%
計	152	100.0%
その他	・N3程度	

問8. 候補者の国家試験受験学習体制についてお聞かせください。

	回答数	構成比
(1) 病院、施設内にて教育担当がおり、十分な指導ができる体制をとっている。	41	19.2%
(2) 病院、施設内に教育担当はいるが、他業務に追われ満足のない教育が出来ない状況。	44	20.7%
(3) 外部に委託（外部講師、予備校など）している。	84	39.4%
(4) 外部に委託をしたいが、近隣に適切な機関がない。	4	1.9%
(5) 学習時間を設け、自習を行わせている。	29	13.6%
(6) その他	11	5.2%
計	213	100.0%

- その他
- ・VRで日本語学習を月4回程度実施
 - ・法人として学習支援を行っている
 - ・法人内で学習担当者を付け対応している(兼務)
 - ・法人内受験対策講座、外部での講習受講へ参加
 - ・行政の支援
 - ・外部委託＋自習
 - ・日本語教師に週一回(1.5H)学習指導をお願いしている
 - ・施設内に教育担当がおり、週2日指導している。外部に委託し、週1日指導を受け入れている
 - ・週1回、神奈川県主催国家試験対策講座に参加している
 - ・毎週小テストを行い、音読、答え合わせ、解説時間を設けている
 - ・週2回、日本語ボランティアの方に指導してもらっている

問9. 介護福祉士候補者受入れご担当の方にお聞きします。
 候補者が介護福祉士国家試験に合格をした場合(合格している場合も含める)、引き続き介護福祉士として就労をしてもらうことを望まれますか？

	回答数	構成比
(1) 最低でも3年～5年は介護福祉士として務めてほしい。	49	28.8%
(2) 日本に定住をし、介護福祉士としてのキャリアを伸ばしてほしい。	41	24.1%
(3) 本人が望むのであれば、今後も介護福祉士として務めてほしい。	78	45.9%
(4) 介護福祉士として務めてほしいと思うが、引き続き就労してもらうことは難しい。	2	1.2%
計	170	100.0%

問10. 近年、地方自治体がEPA候補者の受入れに対して支援事業を行うようになりましたが、貴施設では自治体または他団体からの支援もしくは補助を受けていますか？

	回答数	構成比
(1) 受けている。	79	59.0%

内容：・兵庫県から

- ・介護福祉士国家試験対策講座と学習にかかわる費用補助
- ・外国人介護福祉士候補者受入施設学習支援事業費補助金
- ・学習支援に必要な物品購入費及び研修費用に対する補助金
- ・東京都の補助金
- ・教育費、アパート代
- ・補助金の支給を受けてます
- ・神奈川県より補助金、専門学校への支援
- ・茨城県外国人介護福祉士候補者支援事業補助金
- ・学費補助金
- ・高知県外国人介護福祉士候補者受入施設学習支援事業
- ・住宅費の補助を受ける予定
- ・週に一日(4時間)の通学が無料(授業料のみ)
- ・国家資格取得に関する費用に対しての補助金
- ・東京都にある学習支援を利用しています
- ・学習に対する補助金
- ・県から生活困窮者自立相談支援等事業費として補助を受けている
- ・日本語学習支援事業補助金制度を活用
- ・詳細不明
- ・教育研修に対する補助金事業
- ・学習支援事業補助金
- ・外国人看護師・介護福祉士候補者学習支援事業

- ・日本語学習にかかる費用助成補助金
- ・県による学習支援事業
- ・候補者支援事業補助金(福岡県)
- ・テキスト代
- ・キャリアアップ事業補助金
- ・国:受入施設研修費補助金、研修担当者手当
- ・県からの補助
- ・外国人介護福祉士候補者受入施設研修費補助金(東京都)
- ・教育費補助
- ・高知県外国人介護福祉士候補者受入施設学習支援事業費補助金
- ・神奈川県外国人介護福祉士候補者受入施設学習支援事業補助金
- ・市営住宅の提供
- ・長野県:外国人介護福祉士候補者受入施設学習支援事業補助金
- ・日本語ボランティア等の学習支援(交通費等)の補助金
- ・神奈川県 日本語、介護福祉士国家試験対策学習支援
- ・富山県 外国人介護福祉士候補者受入施設学習支援事業費
- ・日本語学習 国家試験対策に関する費用を支援してもらっている。

(2)	受けていない、または自治体が行っていない。	39	29.1%
(3)	支援事業があれば申請してみたい。	14	10.4%
(4)	その他	2	1.5%
	計	134	100.0%

その他 ・法人として受けているか分からない

問11. 候補者が国家資格を取得した場合、帰国をせずに有資格者として定着するために、何か取り組んでいること、または検討していることはありますか？

		回答数	構成比
(1)	日本語教育の更なるサポート	19	9.8%
(2)	日本人同様に責任のあるポジションを用意	49	25.3%
(3)	給与体系の見直し、手当での増額	76	39.2%
(4)	既婚者に対して、母国からの配偶者・子供の呼び寄せ支援。	30	15.5%
(5)	その他	20	10.3%
	計	194	100.0%

その他 ・正社員としての約束

・特に検討していない

・現段階では、2016年度来日者が国家試験を目指し学習している段階ですので、資格取得後に具体的な定着を図るための方策を検討することになろうかと存じます。

・同法人内で、より賃金の高い他県の施設に異動が可能である。

- ・住居をルームシェアから個室にするよう検討している。
- ・寮(単身用)からの引っ越しのサポート。子供の保育園入園サポート。役所関係提出書類等のサポート等
- ・シェアハウスから個別住宅への住み替えの支援
- ・現段階では不明
- ・キャリアパス
- ・一回の帰国休暇と往復交通費(航空券代)の支給
- ・日本人正職と同じ待遇
- ・資格による手当は日本人同等
- ・法人内、神奈川県施設への異動、より賃金が高く、一時帰国する際に国際空港に近い。
- ・日本人と給与・ポジション同様と考えている
- ・専任スタッフの配置
- ・生活支援

問12. 総合的にみて、EPA候補者を受け入れたことに満足していますか。

	回答数	構成比
(1) 満足	56	40.9%
(2) どちらかといえば満足	59	43.1%
(3) どちらともいえない	22	16.1%
(4) どちらかといえば不満	0	0.0%
(5) 不満	0	0.0%
計	137	100.0%

問13. 2017年11月1日より技能実習新制度に介護職種が追加されました。また、介護福祉士養成校を卒業し介護福祉士の資格を取得した外国人に対しては、介護ビザでの在留資格が認められました。外国人介護職の確保としては、EPA、技能実習、介護ビザの3通りの選択がありますが、今後もEPA候補者の受入れを続けていけますか？また、その理由をお聞かせください。(EPA候補者を受入れるメリット、技能実習生についての考え方、介護ビザ利用への不安など)〔自由記述〕

- ・今後もEPAの受入れを継続していく。日本人よりも、まじめ(素直)に仕事をするから。
- ・出来る限り継続したいと考えます。当事業所には現在EPAベトナム人候補生のみを受入れていますが、母国での学習により、多くの候補生の日本語能力は高く、学習能力も必要な自己学習方法を学んでおり、技能実習生への支援よりも負担が少ないことが挙げられます。介護分野は、一方では専門性を高くするよう求められながら、その一方では人材難という課題は、既に各現場に影響しています。人材不足を補う事と同時に専門性向上を求める現状の中、技能実習生に費やす事は、ほぼ不可能と考えています。
- ・可能な限りEPA候補者の受入れは続けていきたい。理由は日本人の介護士不足。EPA候補生は能力が高いのでEPAで続けていきたい。
- ・EPA候補者は優秀な方が多い。技能実習生は、これから受入れる予定だが、どのようになるかは未知数である。介護ビザで採用は良いと思うが、採用できるほど人数が少ないのではないかと。
- ・介護でEPAのマッチングは難しくなっている。技能実習生も進めている。

・EPAは母国で日本語・介護の勉強をしっかりとあるため、現場でスムーズに受入れができる。いろいろなサポートもしっかりしているため、継続して受入れていきたい。

・受入れの決定権はないが、もしEPA介護福祉士候補者を受け入れることに決まったら新たに受け入れていきます。現在、介護福祉士資格者を含む4名が勤務しています。それぞれ個性はありますが、一生懸命です。又、先輩がいることで後輩も安心して仕事・プライベート共に過ごせるので、環境は良いように感じています。

・EPA候補者の受入れを続けたい。理由として、今までのEPA候補者の人物・考え方に共感できた為、施設としても一緒に成長していかなければならないと再認識できたから。

・私見ではありますが、安心して受入れができる。他制度での受入れは混乱を生じるため受入れは考えていない。

・介護でEPAのマッチングは困難となっている。技能実習生が入る予定。

・色々、検討中

・EPAの受入れ実績、体制が整っているため

・様々な形で外国人介護士が受入れできるシステムとなっており、今後さらに外国人の力をかりなければならぬ時代となると痛感しています。
EPA候補者受入れのメリットとしては、基礎学力が高い(日本語・看護資格等)また志も高い候補者が多くいる為、外国人のリーダー的役割を担っていただける人材であると思います。技能実習や留学生などの受入れは行ってない為不明ですが、今後どのような形で受入れができるか検討が必要と感じています。

・今後もEPAを利用します。ある程度人材の質が確保できること、JICWELSのサポートがしっかりしていること、補助金があること。

・今後については、現時点では分かりません。

・介護業界全体で人材不足が問題となっており、日本人スタッフが集まりにくくなっている状況である。今後の人材確保として、EPAの受入れは必要になってくると思いますので、現場の状況に応じて継続できればと思います。

・当施設ではEPA候補者を引き続き受入れていきたい考えです。当法人ではベトナム人の受入れを行っていますが、これは彼らが現地で日本語教育を受け、入国段階での日本語能力が高いためです。今後も可能であれば、同国出身のEPAを受入れ、EPA同士での介護技術等の伝承がなされる体制が構築できれば理想であると思われます。
当法人の他施設では、千葉県の進める留学生受入れプログラムに参加しているところもありますが、当施設では日本語教育の体制や人事管理上から、多様な制度をすべて活用することは考えていません。

・EPA、技能実習、併用の予定です。

・人材不足への対応の為、法人としても継続。EPAはもちろん、技能実習生についても検討している。

・外国人雇用受入れとしては、EPA・技能実習・特定技能1号・在留資格介護(介護ビザ)の4種類がある中で、EPA以外は送り出し機関、受入れ機関の不透明さから、受入れ申請をしていないのが実情です。今後もEPAでの受入れを続けていきますが、送り出し国の人数制限撤廃など、受入れの拡充を望みます。

・EPA候補者の受入れは継続していきます。将来的な人材確保のため。

・EPA候補者の受入れを希望します。現在当施設にいる5名の候補者は、日本語の能力も介護の技術も高いです。日本語の読み書きや日常会話は、就労上まだ向上してほしい所ですが、能力全体としてみれば満足しています。
当施設の人材不足という課題に対しても、EPA候補者は合致していると考えています。そのため今後も受入れを希望します。

- ・EPA候補者の受入れを続けたいが、希望募集人数に対して、マッチング獲得人数が大幅に少ない。また、技能実習生とEPA候補者との日本語能力は、大差ない印象がある。
- ・受入れは法人で決めている。継続する場合、EPAを継続する可能性が高いと思われる。
- ・今後もEPA技能実習は補助もなく、勉強時間の確保が難しそうである。介護福祉士を増やすのであればEPA一択。
- ・EPAを受入れる。就労、学習に意欲的。
- ・受入れ施設の実績に応じて、助成制度をつくってほしい。
- ・EPA候補者の受入れを続けていきたいと考えています。当施設ではフィリピンの方を受け入れていますが、彼女達の明るさや前向きな姿勢を評価しています。
- ・EPAの受入れを引き続きしていきたい。候補者にとっても施設側にとっても、サポート体制が整っており、便利である。
- ・現在EPAのみとなっており、他制度を活用することでの混乱や、サポート体制の差が不満につながってしまう可能性があるため、現状ではEPAのみで検討している。
- ・長く勤めてもらうのであれば、EPAの制度として受入れが良いと思う。
- ・EPAを受入れていく予定ではあります。
- ・今後もEPA候補者の受入れを続けていきます。EPA候補者については、日本語能力の水準が保たれている点、補助金を活用して資格取得計画を作成できる点で、雇用側として安心して受入れることができるためです。
- ・今後もEPA候補者の受入れを続けていく予定です。人材不足解消の目的もありますが、ご入居者、ご家族からの評判も良く、真面目な勤務態度があり、指導して育成していきたいと思えます。
- ・日本学習におけるフォローが、しっかりとしている(JICWELSによるもの)ため、施設(法人)による負担が少ないため、EPAを今後も継続していく予定。
技能実習生は、語学力がどれ程なのかが分からず、加えて来日後の学習面のフォロー体制が不十分であるため、受入れを現時点で考えてない。
- ・人材不足の解消を主目的として、EPAだけでなく技能実習も検討しております。
- ・EPAは二国間の協定が間にあり、安心できる部分があるのと、費用的にも、又人材としても、一定のレベルが保たれているように感じているので今後も必要に応じて利用したいと思っている。ただし、近年の常用をみると、応募される法人数も急増し、マッチングがしにくいとの声もあり、技能実習生にも目をむけていこうと思っている。この場合、気になるのは費用面と、人材としてのレベル、そして監理団体のサポート体制である。介護ビザについては、あまり考えていない。
- ・EPA候補者を受入する希望はあります。EPAですと国県からの支援もあり、教育体制、相談体制も整っており安心して受入れができる。
技能実習生についても、一定の日本語能力と監理団体がしっかりしていれば受入れ検討も必要と考えている。
- ・EPA候補生:基礎学力(日本語能力・専門)が有る為、日常業務への適応力が高く、即戦力として働いてもらえる。 技能実習生:当施設では採用はありません。ただ、監理費が高く、採用は難しいと考えています。 特定技能:期待しています。
- ・当法人ではEPA候補者と技能実習生を受入れているが、日本語レベルで大きな差がある。(EPAは実習生より日本語レベルが上)やはりEPA候補者は優秀であることがよくわかった。しかしながら、介護福祉士に合格すると転籍される方が多くなったと聞いているので、運営側の施設もビクビクしている状況だと思えます。

- ・本部事務局の指示により業務に就いているため不明である。
- ・EPAの安定(人として)技能実習生については、人ビジネスになっている事に不安
- ・身元がしっかりしていて、補佐もしていただけるので安心している。EPAが一番良いと思う。技能実習はかなりお金がかかるから。
- ・今後もEPA候補者の受入れを続けていく。日本人の求人を募集するが、なかなか来ないし、来ても精神的に弱い人が多く退職される人が多い。EPA候補者は辞める人が少ない。EPA候補者の受入れ出来る人数が減っている為、技能実習生に今年から来てもらうが、どれぐらい会話が出来、理解できるのかは不安である。
- ・EPA候補者は給与・休日など自らの希望が多くなってきているので、今後は技能実習、特定技能で採用していく予定。(都市部の施設が、青田刈りしている)
- ・EPA受入れは今後縮小を検討中。待遇面で優遇しすぎていて、金銭面負担多大。本人たちも依存心が強くなってしまう。(本人たちが悪いわけではないが、、、システムの、、、、)
- ・特定技能1号に徐々にシフトしていきたい。看護学部大学生をインターンシップで学んでもらい、力がついたら特定技能1号で再入国、国家試験で合格すれば、介護ビザで永住権を。EPAでは、手続きが煩雑で、帰国者が多い。留学生は学習意欲のない学生をつかまされることもある。優秀な学生は都会に住む。地方に定着してもらう施策を考えている。
- ・今後受入れていくかは検討中。技能実習、介護ビザは検討の余地あり。
- ・今後EPAを受入れる予定はない。法人の方針。
- ・受入れ予定です。理由としては、看護師資格があること、日本語能力が一定であることです。
- ・EPAを2009年から継続的に受入れていますが、近年は売り手市場でマッチング成立が非常に難しく、特にベトナムEPAは現地面接会に参加しても一人もマッチングができない現状ですので、EPAは今後は求人申請をしない予定です。現在、技能実習生を7名受入れていますが、能力的にはEPAと遜色なく、日本語レベルも高くよく仕事もできますので、今後は技能実習生にシフトしていく見通しです。
- ・EPAは制度が確立されているため信用性が高い。他のルートは、まだ不明瞭なところも有り不安を感じる。
- ・EPA候補者の受入れを続けて行きたい。理由)仕事、勉強ととても一生懸命に取り組まれています。現場の日本人スタッフからも「やさしい、まじめ」等聞かれています。日本人スタッフも、候補者に対していねいに接してくれていて、施設職員(一員)として受け入れている、良い関係が作れている。
- ・続けていく。(技能実習も特定技能も受入れ予定)
今まで受入れを行ってきたが、彼らの真面目なところや人柄の良さ、能力の高さを考えると、今後もEPA候補者は積極的に雇用していきたい。年々採用が難しくなっているため、EPAの受入れ枠を増やして欲しい。
- ・技能実習生に対する、日本語教育に不安がある。
- ・外国人介護職は、何れの制度に基づいても受入れる考えですが、受入れ方法、在り方等、制度内容によって今後の受入れ方を選択する予定です。
- ・受入れは続けていきたい。日本国内における介護職員の人員不足が顕著にあらわれる中、外国人介護職員の存在は、施設の利用者・日本人職員にとって必要な存在になりつつあります。
- ・EPA候補者は、能力がとても高い。技能実習生や留学生は問題が多い。

・EPA候補者の受入れしか考えていません。理由: 入国時にN3を取得。それでも、職員や利用者とのコミュニケーション、申し送り等、業務の一人立ちに苦戦している。

・EPAの受入れは継続したいが、マッチングが難しい。法人内の他施設が技能実習生を受入れるので、どのようになるか様子をみたい。

・続けていく。滞在可能な期間等の問題がある。

・受入れについては、今後も継続していく予定である。候補者の中には、日本で生活や仕事を望まれる方がいるため、人材不足の解消や国際的な交流の機会もあり、メリットはあると考えている。

・EPAプログラム参加外国人候補者の日本語レベル、介護技術レベルが一定のレベルをクリアしている事。・JICWELSとの協力関係が確立している事からの安心感。

・日本語力が高いから

・当施設では現在もEPA候補者の求人申請を行っておりますが、EPA制度のメリットは日本語学習への補助金がある事から施設の負担を抑えて日本語能力を向上させられる事、国際厚生事業団が学習と相談の支援を行っている事だと考えます。またEPAから特定技能1号への移行も認められた事により国家資格取得に向けての条件が緩和している事もあります。受入れから将来性まで考えるとEPAが一番優れている制度と思えることから、今後も継続して受入れる予定です。しかしメリットが多い事で求人施設数が増加しており、当施設では2017年以降のマッチングが出来ていない、問題もあります。

・EPAを継続予定。JICWELSからのサポート支援が助かるため。

・当施設として、今後もEPA候補者を受入れたいと考えている。その理由は、EPA候補者は、技能実習生よりも日本語能力が高いことにある。技能実習生も受入れる予定だが、継続していくかは不透明である。それは、日本語能力に不安を感じるためである。

・EPAは当初より、当施設では3年計画で受け入れたこともあり、今年で3年目となり、一応ストップとする。尚、現在、技能実習生(介護分野)を受入れする為の準備をしている。

・EPA候補者を受入れたいが、求人事業所が多過ぎることと、候補者が都会志向のため、マッチングがほぼ不可能な状況である。

・EPA候補者においては、身元保証が担保されている。

・手続きや報告の簡素化が出来れば受けたいと思います。

・EPA受入れを続ける。(新人教育指導者を育成)・特定技能実習生も視野に入れる。

・今後もEPAの受入れを続けていく予定です。EPA候補者を受入れるメリットとしては、候補者と施設間の中間機関が信頼できるため、双方が安心して受入れできる事です。

・施設としてはEPAの受入れを継続、法人としては技能実習生、特定技能1号も視野に入れている。EPAは、日本の介護福祉士資格取得を目的として、その後も日本残留を明確にされている方が多い。技能実習生は、技能を母国に持ち帰り、発展されるイメージが強いので、残ってもらえるか不安である。

・将来的な人材確保の為、ある一定数は受入れを継続していくことを考えているが、技能実習生、特定技能の受入れの方が安価にすれば、そちらへの移行も考えている。

・EPA候補者の受入れは継続する予定。母国や来日後の研修体制やサポートも充実しており安心できる。

・EPA候補者の方々は、とても優秀です。3年後の国家試験に対しても真剣で、生活の乱れもなく地域で暮らしておられ安心できます。

・受入れていく予定です。外国人労働者の素直で一生懸命なところが、利用者にとっても職員にとっても感化している。

・EPA候補者、技能実習生、併行して受入れしたい。

・EPA以外の方法での受入れをした事はありませんが、EPA候補者は意欲的で、性格、教養も良い印象があるので、受入れを続けたいと思います。書類作成等の業務が負担となるため、改善できる部分があると、受入れもしやすくなると思います。

・EPAは優秀な方が多く、日本語能力も高いです。地方はEPA候補生とのマッチングも難しいため、今後は技能実習や介護ビザで入国される方に頼らざるを得ないと考えております。

・日本語教育へのスタッフの負担は一番大きいですが、国の関与による候補生への信頼度を考えると、3通りの選択の中で今後も最も重要視していきたいと考えています。

・EPA制度より、特定技能等へシフトしていく予定です。

・EPA制度が継続する間には行う。外国人介護士のリーダー養成のため。

・受入れ継続予定。介護能力、日本語能力の高さ

・EPAからの受入れだと安心である。

・EPAの受入れは継続していく予定です。理由としては、最もしっかりした制度で、入国してくる候補者の能力も高いため。

・受入れる予定です。

問14 その他 ご自由にご意見をお書きください。

・働く外国人職員の家族への対応策を考えていく必要があると思う。

・現在、EPAの介護福祉士候補者アンケートに回答した2名と今年8月より1名受け入れています。皆、体調を崩すことなく頑張っています。今回、回答した2名は日本語も上達し、介護の部分でも他スタッフに負けない方、技術を身につけ、入居者とも上手にコミュニケーションをとり、一人のスタッフとして皆スタッフも信頼しています。後輩も追いつくように育てくれ、それぞれが介護福祉士の資格が取得出来るようにサポートしていきたいと思っています。

・日本に来てから色々と気持ちは変わるのかもしれませんが、EPAの制度を利用して日本に来たからには、介護福祉士を取得して、数年は日本で働くという強い気持ちや、場合によっては制度内でのしほりを作ってもらわないと、受入れる側、教える側のモチベーションの問題が出てくる恐れがある。

・EPAの学習時間を取ることが、毎月大変になっている。体調不良者などが出ると、他の職員にも負担がかかっている。

・宗教上の事、休みの取得の事、勉強する姿勢、仕事をする姿勢、結婚についてなど問題点や課題点が多々あると思います。お金面や雇用条件などEPAの人達の中では、他施設の情報や金額など全てオープンです。条件などを比較して、他の施設はこうしてくれている！などと言われると、いかがなものかと思えます。一律な雇用条件、給与額があっても良いかと思えます。

・貴団体に関しては、2010年からのつき合いで、非常に信頼をおいています。インドネシア訪問・視察から、現在でも日本語教師の派遣をお願いしております。そこで初めて今回介護の技能実習生を2名お願い致しました。10月7日入国、11月5日には来園されるとの事で、楽しみに又期待しつつ、お会いするのをお待ちしておりますので、宜しく願い申し上げます。

・EPA候補者は、言葉使いも丁寧で優しい。仕事も一生懸命行っているが、どうしてもEPA候補者は仕事中に勉強に抜けるので、その間は大変な部分はある。

・EPA候補者の場合は体制がしっかりしている為、受入れ側として安心できるシステムです。技能実習生はまだ受入れてない為、わからない部分が多く、日本語能力がどれくらいなのか、介護の質が落ちるのではないか、EPA・技能実習生・介護ビザの混在が可能なのか、施設として不安です。

・EPA介護福祉士候補者は一定の能力、確率された研修面でのバックアップ等受入れ上の安心感があります。しかし、近年マッチングが難しくなっている現状がありますので、EPAを継続して受入れつつ、他の外国人介護職の確保に向けての準備を必要と感じております。

・当施設のEPA介護福祉士候補者も一名勤務しておりますが、介護福祉士としてモチベーションが上がるように、今現在では当施設技能実習生の受入れはしておりませんでした。技能実習指導員研修を修了しました。海外で就労する気持ちが分かる一番の理解者となれると思っています。現在EPA介護福祉士候補者に対し、良きアドバイスをするお姉さん先輩としても活躍している、施設としても大切に人材育成をしていきたい。

・在留カード1年毎の更新の為、携帯電話契約できない

・外国人に対しての待遇が悪い。悪徳業者も多い。外国人受入れに対する考え方を考え直した方がよい。いずれ外国人が日本に来なくなると思います。

・日本の福祉サービスが成熟していくためには、外国人人材を受入れることにより、福祉臨床がクローズアップされ、従事する日本人が危機感を強く感じることであると考える。現在の日本の福祉臨床の閉塞感を打破するためにも、外国人人材を受入れている施設・法人が実践発表する場が多く設けられるとありがたいと感じる。

・受入れるまでは不安が大きかったが、ベトナム人と関わるが多くなるにつれて、素敵な笑顔や挨拶、人柄に惹かれていきました。日本人以上に東南アジアの方々は、家族を大切にすることを表現し、伝えてくださるので学ぶところが多いと思いました。異国の地で一生懸命働いて生活されているので、これからも微力ながらサポートしていきたいと思います。

・EPA制度の活用を考える際に、既に受入れしている法人が、その内部で活躍しているEPAの方と母国の方とのつながりで来る前に決まっている事が多く、著しく不公平を感じています。公平性が担保されることを望みます。

「EPAに基づく看護師・介護福祉士候補者」集計表
 ～【候補者 回答】～

問1 あなたの職場はどれですか。

	回答数	構成比
(1) 病院	55	8.2%
(2) 特別養護老人ホーム	452	67.4%
(3) 老人保健施設	118	17.6%
(4) 介護療養型医療施設		0.0%
(5) 障害者施設	32	4.8%
(6) その他	14	2.1%
計	671	100.0%
・養護老人ホーム		
・地域密着型複合福祉施設		
・ケアハウス		
・有料老人ホーム		
・グループホーム		
・サービス付き高れい者		

問2 年齢

	回答数	構成比
(1) ～25歳以下	92	16.5%
(2) 26歳～30歳	381	68.2%
(3) 31歳～35歳	76	13.6%
(4) 36歳以上	10	1.8%
計	559	100.0%

問3 性別

	回答数	構成比
(1) 男	132	23.2%
(2) 女	438	76.8%
計	570	100.0%

問4 あなたは何年度に入国しましたか。

	回答数	構成比
(1) 2016年度	164	29.5%
(2) 2017年度	188	33.9%
(3) 2018年度	203	36.6%
計	555	100.0%

問5 あなたの国籍を教えてください。

	回答数	構成比
(1) インドネシア	217	38.8%
(2) フィリピン	195	34.9%
(3) ベトナム	147	26.3%
計	559	100.0%

問6 これからの計画、希望について聞かせてください。

	回答数	構成比
(1) 国家試験に合格をして、これからも10年以上は日本で仕事をしたい	251	44.9%
(2) 国家試験に合格して、1～3年くらい日本で仕事をしたい	246	44.0%
(3) EPA滞在期間（3年、4年）が終わったら帰国をしたい	55	9.8%
(4) 今すぐにでも帰国をしたい	7	1.3%
計	559	100.0%

問7 問6で「今すぐにでも帰国をしたい」と答えた方にお聞きします。なぜ、帰国をしようと思ったのですか？

	回答数	構成比
(1) 日本での生活が合わない。		0.0%
(2) 勉強が辛い。		0.0%
(3) 仕事が辛い。	1	9.1%
(4) 病院、施設の日本人職員との関係がうまくいかない。	2	18.2%
(5) 母国の家族が心配だから。	4	36.4%
(6) その他	4	36.4%
計	11	100.0%

その他

- ・ヘルニアになっています。
- ・結婚する
- ・結婚したいです
- ・体調不良の為

問8 なぜEPAに応募をしたのですか？

	回答数	構成比
(1) 日本に行きたかったから。日本文化に興味があったから。	219	27.2%
(2) 日本の医療、介護技術は進んでいるため、現場で学んで帰国後に母国で使いたいから。	134	16.7%
(3) 日本の医療、介護の現場でずっと働きたいから。	65	8.1%
(4) 日本語を話せるようになって、帰国したら日本の会社(病院以外)に勤めたいから。	83	10.3%

(5)	日本はお給料が良いからEPA候補者の間だけ働いてお金を貯めたいから。	130	16.2%
(6)	日本に長く住んで日本の病院や介護施設で働きたかったから。	156	19.4%
(7)	その他	17	2.1%
	計	804	100.0%

その他 ・市民になりたいです

・もし、国家試験に失敗したら、母国に帰って、学んだ経験は、他の国への申請に使用されます。

・海外で仕事をしたり、自己啓発をしたいからです

・海外ではたらかきたいので

・外国に住みたかったから

・役に立つ人になって、良い経験を作りたいから

・日本には仕事についてとてもいいという話がよくきかれました。なので、経験として働きたいです。

・日本語を話せる

・日本に住みたいから

・日本文化にきょうみがある、日本の介護技術を学びたいから

・日本はお給料が良いから、両親にお金を送りたいから

・健康がいろいろうちに日本で働きたいと思います

・友達に誘われた

・息子と日本に住みたいですから

問9 今後どのような仕事をしたいと思いますか。

		回答数	構成比
(1)	日本で看護師として働きたい	147	22.0%
(2)	日本で介護福祉士として働きたい	273	40.9%
(3)	日本で日本語を活かした別の仕事をしてみたい	52	7.8%
(4)	母国に帰って看護師として働きたい	59	8.8%
(5)	母国に帰って介護の仕事を広めたい	22	3.3%
(6)	母国に帰って日本語を活かした別の仕事をしてみたい (例：日系企業など)	72	10.8%
(7)	日本で大学に入学したい	16	2.4%
(8)	母国で大学に入学したい	9	1.3%
(9)	その他	18	2.7%
	計	668	100.0%

・まだ考えていません。

・某国で大学に入学したい。あとは家族と時間を過ごします。

・最終的には、ビジネスマネージャーになりたい

・日本で介護福祉士と職場のリーダーとして働きたい

・理学療法士

- ・母国に帰って、自分の家で働きたい
- ・日本語の専門学校をたてたい
- ・悩んでいるところです
- ・他の国で働きたい

問10 介護福祉士候補者の方にお聞きします。国家試験の合否に関わらず、EPA期間を終えた後の自分の進路に関して、どう思っているか教えてください。

	回答数	構成比
(1) 日本の介護施設で働いていきたい。	260	47.5%
(2) 母国に戻り、介護の知識を広めたい。	41	7.5%
(3) 母国に戻り、看護師として働きたい。	80	14.6%
(4) 技能実習・特定技能制度などに興味がある。	45	8.2%
(5) 日本の病院で看護師として働くことが夢である。	92	16.8%
(6) その他	29	5.3%
計	547	100.0%

- ・今のところ、まだ分からない
- ・母国に戻り、学んだ経験は、他の国への申請に使用されます。
- ・母国に戻り、介護や看護の知識を広めたい
- ・某国で大学したい、どこがどうかまだかんがえていません。
- ・母国に戻り、日本語の知識を広めたい
- ・国家試験に失敗したら、すぐ帰国をしたい
- ・ベトナムと日本語に関する仕事をしたい
- ・5年ぐらい働いて、母国に帰りたい
- ・日本語を活かした仕事に挑戦してみたい
- ・日本語の知識を広めたい
- ・介護の知識も活かしたいし日本語も使いたいですので、悩んでいるところです

問11 みなさんにお聞きします。国家試験に合格して、日本の病院または施設で就労する場合に、病院または施設に対して、何か期待することはありますか？

	回答数	構成比
(1) 日本語教育のサポートをしてほしい	191	28.1%
(2) 日本人同様に、責任のあるポジションを用意してほしい	75	11.0%
(3) 給与体系の見直し、手当での増額をしてほしい	204	30.0%
(4) 母国からの配偶者・子供の呼び寄せ支援をしてほしい	97	14.3%
(5) 特になし	109	16.0%
(6) その他	4	0.6%
計	680	100.0%

- その他
- ・日本語が堪能でない場合はご理解ください
 - ・日本の大学に入学してほしい
 - ・今のもらった給料は少ない。そして日本の物価とせいかつひも高いので給料は足りません。
 - ・母国に帰って、ほかの国を応募したい。

問12-1 毎日の平均的な学習時間を教えてください。〔平日(仕事のある日)〕

	回答数	構成比
(1) なし	67	12.6%
(2) 1時間	193	36.4%
(3) 2時間	152	28.7%
(4) 3時間	49	9.2%
(5) 4時間	29	5.5%
(6) 5時間以上	40	7.5%
計	530	100.0%

問12-2 毎日の平均的な学習時間を教えてください。〔休日(仕事のない日)〕

	回答数	構成比
(1) なし	34	7.1%
(2) 1時間	86	17.9%
(3) 2時間	154	32.1%
(4) 3時間	82	17.1%
(5) 4時間	48	10.0%
(6) 5時間以上	76	15.8%
計	480	100.0%

問13 今の学習時間についてどう考えていますか。

	回答数	構成比
(1) 十分足りている	203	36.2%
(2) もっと時間がほしい	271	48.3%
(3) 今はあまり勉強をしていない	72	12.8%
(4) 国家試験の受験よりも現場で技術を学びたいので、勉強はあまりしていない。	15	2.7%
計	561	100.0%

問14 EPAに基づく候補者として日本に来たことに満足していますか。

	回答数	構成比
(1) 満足	198	36.0%
(2) どちらかといえば満足	251	45.6%
(3) どちらともいえない	87	15.8%
(4) どちらかといえば不満	10	1.8%
(5) 不満	4	0.7%
計	550	100.0%

問15 国家試験に合格したら、結婚をして家族を日本に呼んで生活をしたいですか？

	回答数	構成比
(1) はい、配偶者を呼びたいです。もしくは、既に配偶者を呼んでいます。ずっと日本で生活をしたいです。	158	29.5%
(2) はい、配偶者を呼びたいです。もしくは、既に配偶者を呼んでいます。ですが、数年で帰国したいです。	218	40.7%
(3) いいえ、配偶者を呼びたいですが、難しいと思います。離れて生活をします。もしくは今も離れて生活をしていません。	49	9.2%
(4) いいえ、家族のために帰国をし、母国で暮らします。	87	16.3%
(5) 日本国籍の異性と結婚をし、日本に永住したいです。	23	4.3%
計	535	100.0%

・結婚しないですが、ずっと日本で生活をしたいです

・まだ考えてない

・日本国籍の異性と結婚したので、永住したいです。

問16 その他、ご自由にご意見をお書きください。

- ・日本の働き方とか技術とか、すごくいいと思って、交通も便利です。
- ・外国人のために、国家試験はないほうが良いと思う。自分の国で看護師の事も勉強したから。
- ・国家試験が近いので、介護の先生が必要です。
- ・母国で介護の仕事を広めたいです。どこか介護の仕事を広めたいところがありますか。教えてくださいませんか？
- ・もし介護福祉士テストを失敗したら仕事が続きますか。理由がありますから、最近インターネットで記事を読みました。①2025年高齢者が増えましたから②新しい在留資格を知っていますか③10年介護福祉士の仕事をします。給料+80,000円本当ですか
- ・介護試験に合格したら、家族を日本に連れて、一緒に住むことができますか？
- ・今のところは大丈夫だと思います。聞くことがあったら、メールします。どうもありがとうございました。
- ・すべての病院や施設で、仕事の後の勉強時間があることを願っています。仕事を終えて勉強するのは本当に大変だと思う。体が疲れている場合、勉強に集中することは難しいと思う。
- ・国家試験に合格したら、ずっと日本に住みたいです。
- ・国家試験に合格したら、子供の教育のサポートをしてほしい。
- ・もっと勉強時間がほしい。
- ・候補者ですが2年間から働いたら、給料とボーナス上がってほしい。長い時間働いているのに給料が少なくなり、困っている。
- ・ボーナスが上がって欲しい。勉強の時間が増えてほしい。

- ・この機会をもらって、ありがとうございます。仕事が大変ですけど、支援をしていただいて、良い経験になります。また頑張ります。
- ・もともと日本に来る目的は日本の文化やお年寄りの生活介護技術などを勉強したかったので、思い切って母国に離れるために皆さんにもっと教えてほしいです。自分の目標は国家試験に向けて、精一杯頑張ります。
- ・国家試験の勉強は、もっとサポートしてほしいと思います。
- ・施設から、よく生活の中や勉強の中もサポートしてもらおうのでありがとうございます。
- ・今の働いてる病院について動きやすく、日本人の職員優しくしてくれてます。困る事があれば助けてくれます。
- ・国試に合格したい。・JLPTの試験に合格したい。・経験を積んで、技能を向上させるために日本の実習に参加したい。・国試に合格したら日本の大学に進学したい。
- ・人生には楽しいことも楽しくないこともあります、それと向き合い、神様に感謝したい。国試に合格して日本に住み、他の人のために技能を学びたい。。なぜなら私はどこにいても他の人を助け、役に立ちたいからです。また、イスラム教の日本人と結婚したい。どうか叶いますように。。。読んでいただきありがとうございます。
- ・勉強する時間がほしい。
- ・国家試験に合格したら、家族を日本に呼んで生活をしたいので、できるだけ国家試験の前に6カ月ぐらい仕事を休ませて頂けて一生懸命勉強したい。
- ・日本の生活は良かったと思います
- ・国家試験に合格したら、配偶者だけでなく、両親も呼んで日本に生活をしたいです。ですから日本の政府から色々なサポートをしてほしいです。
- ・EPA候補者として働きながら勉強しているのが本当に大変です。今の学習時間は私にとって足りると思いますけど試験はあともうすぐなので仕事のない日に勉強時間増やしたほうがいいと思います。でも仕事に体力や脳力も使っていて疲れて十分な休みをとらないといけないので、1時間半か1時間しか勉強できません。
- ・毎年お国へ帰りたい。
- ・日本は美しい国で私の地球上で最も好きな場所のひとつです。ここで働きながら日本の文化と言葉を学んでいます。しかし遠く離れた家族のことを思うと、それはなかなか大変なことです。EPA候補者が少しでも多く日本に残れるようにいろいろな面でサポートしてもらえたらうれしいです。
- ・学習時間がとても足りないなので、もっと勉強の時間が欲しい。
- ・今は施設を選ぶチャンスは一回しかないなので、二回にしてほしいです。
- ・EPAに参加することは本当に良かったです。
- ・今の所はまだいいです。ありがとうございます。
- ・国家試験合格したら、ずっと日本で住んでいます。国家試験の勉強もがんばります。
- ・いろいろサポートくださって、ありがとうございます。

- ・勉強のことですが、特に漢字はだんだん難しくなるので、読み書き練習は十分にできていないので、しっかり勉強しようと思います。
事項管理や時間管理も上手にできていないので、しっかり考えて、うまくできるために、1日のスケジュールとかを作りたいです。
- ・今は満足していますが会話がまだ苦手なので、会話力が高まる方法と本をサポートしてほしいです。
- ・研修会が少ないので、もっと開かれてほしい。
- ・候補者の給料が低くて生活に困る。出来ましたら施設からの援助を改善してくれると助かるんです。
- ・今までここで働いて快適に感じます
- ・毎日の学習時間が足りないなので、もっと時間が欲しいです。
- ・今のもらった給料は少ない。そして日本の物価とせいかつひも高いので給料は足りませんですから給料を増やしたいです。
- ・給料が増やしたい！ボーナスも！